



四季の森で小鳥の巣箱作り！ NPO法人わんぱーく主催で実施

11月4日(月)、西持留の四季の森において、国立青少年教育機構助成活動としてNPO法人わんぱーく主催の小鳥の巣箱作りが開催されました。

町内の小学生30名とその保護者が参加し、子どもたちは幅15cm長さ2mの板を差し金やスケール、回し引きノコ、のこぎりなどの道具を使い、巣箱づくりに挑戦しました。

出来上がった巣箱は四季の森の木々にシュロ縄で固定され、参加した大崎小5年生の小屋さらささんは、「生まれて初めて木に上りました、少し怖かったけど、志布志湾まで見えて気持ち良かったです。巣箱で鳥がひなを育ててくれるのが楽しみ」と巣箱作りの感想を述べました。

令和2年3月には、設置した巣箱を活用し野鳥観察会が計画されているということです。

四季の森には、今年2月に、水を使用しないバイオトイレとトーチカ前の展望所に、無料で使用できる双眼鏡が設置されています。



心より追悼の意を捧げました 町慰霊塔前で追悼式を挙



11月12日(火)、町慰霊塔(都萬神社)において、『大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式』が挙行されました。

追悼式には、戦争で家族を亡くされた遺族の方々や消防殉職者の遺族の方々など約70人が出席され、故人834名を偲びました。

遺族会代表の米永寛さんは追悼の言葉のなかで、「二度とあの悲惨な戦争を繰り返す事がないよう、戦争を知らない多くの人たちに語り継ぐことが求められています。」と述べられました。

いつまでも2人でお元気に！ 合同金婚式を開催しました



11月1日(金)、あすばる大崎において結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝う『大崎町合同金婚式』が開催されました。

今年金婚式を迎えられたご夫婦は、昭和44年に結婚された方々で、当日は13組のご夫婦が出席されました。式典では東町長からお祝いの言葉と記念品が贈呈され、余興では大崎民舞会や音楽体操グループによる舞踊が披露されました。

最後は参加者を代表し西ノ園克彦さんご夫婦が謝辞を述べられ、全員で万歳三唱で祝いました。